

環境にあります。

①自力での飲食、自力での排泄が不可能です。

②連日、連夜、多くは早朝の滝のような発汗。退院以後、1日として乾いて起床したことはありません。

③両手足の拘縮こうしゆく。

④笑顔の消滅。

⑤喀痰の自力排出ができません。

とりわけ、この⑤に関して、主治医からは「気管切開」をすすめられていました。が、家族会議（12月15日）では、これ以上の延命措置は行わないで自然に任せることを確認しました。

喀痰の排出は、同時に、誤嚥性肺炎の危険で一大事に直結します。介護人のわたしは、24時間身辺にあつて、即時吸引で危険とたたかっています。が、幸い、最近はずっと安定してきています。御所にも、吸引きゆういんカテーテルを持参しています。限られた人員でご苦労なさっていることは重々承知ですが、どうか、適宜、適切な吸引措置をお執り頂くようお願い申し上げます。

以上

★ デイサービス「なごみの郷」からの返信

【コメント】

「なごみの郷」からは丁寧な返信があつた。文中の「車椅子の寄贈」は、これまで使用していた車椅子を寄贈したことへのお礼である。また、「スロープの準備」とは、新しい車椅子の出入をスムーズにするためのツールのこと。

有田光雄 様

有田和子 様

お手紙ありがとうございます。先日から車椅子の寄贈、スロープの準備などのご配慮をいただきましてありがとうございます。

週2回のデイサービスのご利用が、お二人の生活に少しでもお役にたっていることにうれしく思っています。